

平成30年度 学校経営計画書

学校番号	53	学校名	静岡県立川根高等学校	校長名	須藤 隆広
------	----	-----	------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

校訓「自省」「創造」「果敢」の精神に則り、生徒一人一人の確かな学力、豊かな感性、健やかな心身を育成するとともに、生徒・保護者・地域にとって安心安全な学校づくりを目指します。

<育てる生徒像>

川根愛を育み、自らの未来を拓くために

- ア 自ら掲げた目標の実現のために、川根という教育環境を生かして、よりよい学習習慣を身につけるとともに、思考力・判断力・表現力を鍛える生徒
- イ 自他のよさを認め、多様な考え・生き方を尊重するとともに、他者との適切なコミュニケーションをとって社会の中でよりよい人間関係を築ける生徒
- ウ 学校行事、生徒会活動、部活動に積極的に取り組むとともに、健康的でよりよい生活習慣を身につけ、大きな声であいさつができ、声高らかに校歌を歌える生徒
- エ 誰にとっても落ち着いた学習環境を皆で作るとともに、防災にも積極的に取り組み、安心安全な学校作りに主体的に関われる生徒
- オ 川根を学び、地域行事に積極的に参加するなかで、魅力や課題を発見し自己の学びに結びつけるとともに、中高連携、川根留学、夢ぷろなど川根ならではの取組によって自分を成長させる生徒

(2) 目標具現化の柱

- ア 確かな学力の育成
- イ 豊かな感性の育成
- ウ 健やかな心身の育成
- エ 安心安全な教育環境、働きやすい職場の確立
- オ 魅力ある学校づくり

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

柱	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当
ア	生徒一人一人の目標実現のための確かな学力を身につける学習指導や授業改善の取組を積極的に行う。	生徒の基本的学習習慣、授業への取組 家庭学習習慣を身に付けさせることにより、基礎学力の向上を図る。生徒の授業に対する前向きな取り組みを推進するとともに、生徒が積極的に授業に参加できるよう授業改善を行う。	テスト期間における家庭学習時間の平均が180分以上。 「授業に集中して取り組んでいる」「この授業が分かる」がともに95%以上。	教務課
		授業改善等の職員研修 遠隔通信システムを有効的に利用しながら、積極的にアクティブ・ラーニング(=AL)型授業を展開し、確かな学力を身に付けさせる。職員全員がAL型授業を実践でき、遠隔通信システムを利用できるよう研修を行う。	各教員がAL型授業を各学期1回以上。	教務課 研修
		進学希望者学習指導 補習や模試、チューター制度を生徒の実態に合わせて企画・運営し、内容の充実を図る。 スタディサプリの活用により、個に応じた学びの機会を提供する。	進学希望者のGTZでランクが上昇した生徒が60%以上。	進路課
		進路実現 生徒や保護者に対して、進路の選択・決定に必要な情報提供を行う。 生徒が自身の進路実現にむけて主体的に取り組むために、適切な時期に適切な働きかけを行う。	卒業時の進路実現100%。	進路課

様式第1号

イ	多様な考え・生き方を尊重し、他者への思いやりの精神を身に付け、社会の中でよりよい人間関係を築ける感性と教養を持った生徒を育成する。	コミュニケーション、思いやり 中学校、町役場、地域と連携して、学校内外のルールやマナーに関わる活動に取り組むことにより、他者を思いやる心を身に付ける。	生徒アンケートの「困っている人を見たら助けてあげたい」で95%以上。	生徒課
		いじめ防止 教育相談を充実させ、担任や部活顧問、保護者、地域と連携し生徒一人ひとりにあった支援をしていく。	いじめ件数0件。	生徒課
		読書 授業や進路指導、図書委員会の活動を通して図書への生徒の興味を喚起し、本を手にする機会を増やす。 生徒にとって魅力的な図書館作りをする。	年間1人読む本4冊。 貸出冊数を1人当たり年間3冊以上。	総務課 図書
ウ	基本的な生活習慣を確立し、自ら心身の健康管理を行うとともに、学校生活に積極的に取り組む知・徳・体のバランスのとれた生徒を育成する。	基本的生活習慣 あいさつ、服装のレベルをさらに高めるために、継続した指導を行う。 学校生活を通して、モラルやマナーを身に付けることの大切さを伝える。	生徒アンケートの「ルールを守る」で90%以上。	生徒課
		健康管理 朝食摂取調査により、生徒の食生活の改善を図る。掲示物等を使い、食事に対する意識を啓発する。	朝食摂取率100%。	保健課
		学校行事・生徒会活動・部活動 部活動顧問の適正配置を図るとともに、部活動顧問と担任が連絡を密にとり、生徒が部活動に主体的に取り組む、自ら進んで判断できるようにする。	生徒アンケートの「部活動に積極的に参加した」で90%以上。	生徒課
エ	安全教育・安全管理を徹底することにより、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。	防災 地区会や防災訓練を通して、非常時における身の安全を確保できる対応策を指導する。 地域防災訓練の参加を積極的に呼びかける。	地域防災訓練への参加率95%以上。	総務課
		施設設備 日常点検を行うとともに、職員安全衛生委員会等で職員から校内の情報を積極的に収集する。得られた情報は共有し、迅速に対応する。	施設・設備に起因した事故の発生件数0。	事務
		PTA、広報 PTA地区会に参加しやすい状況を心がける。学校行事の周知をして参加を促す。 ホームページ更新を積極的に行い閲覧数増を図る。	PTA地区会参加率を70%以上。 ホームページアクセス数を月2,000件以上。	総務課
		働きやすい職場環境、業務改善 安全と健康に留意しつつ、業務の効率化を図り、時短を達成する。	学校安全衛生委員会の提言の実現を5件以上。 セキュリティセット時刻の短縮前年比15分以上。	副校長
オ	県外募集に向け本校の魅力化を推進させるとともに、川根地区ならではの連携型中高一貫教育の充実を図る。	連携型中高一貫 4委員会の活動に「一貫」を意識させ、一貫教育の目標やねらいの達成を実現する	連携中学保護者への広報機会を3回以上。 各事業で毎回PDCAを行う。	副校長
		夢ぷろ 個々の体験型活動を充実させるとともに、教育課程全体に「夢ぷろ」を軸として関連性をもたせる。	教育課程の全担当に「夢ぷろ」との関連性を確認する。 各事業で毎回PDCAを行う。	副校長
		県外生徒募集、留学生受入体制と指導 県外生徒募集説明会や、隣接学区の中学校や留学生の出身中学校訪問、ホームページを活用し、川根留学生説明会の周知を図るとともに、制度の更なる理解浸透を図る。	県外会場での生徒募集説明会2回以上。 川根留学生説明会への参加30組以上。	副校長 教頭 生徒課
		ICT整備校 ICT機器を活用した授業の研究を推進する。 遠隔通信システムを活用した授業、交流、研修を継続して推進する。	遠隔通信システムを活用した授業、交流、研修等合計8回以上。	教頭 教務課

(記入上の留意点)

1(1)(2)の欄は、単に校訓や抽象的な理念にとどまらず、学校の特色を明解に表現すること。また、具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。